

奈良県の「老舗企業」 502社 出現率は 3.29%

全国では21番目の老舗企業出現率

奈良県・「老舗企業」分析調査(2025年)



本件照会先

佐藤 正明 (調査担当)
帝国データバンク
奈良支店
0742-26-3231 (直通)
Info.nara@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/05/15

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

2025年12月時点で奈良県に本社を置く業歴100年を超える老舗企業は502社。老舗出現率は3.29%となった。都道府県別にみると、京都府がトップで、山形県、新潟県が続いた。業種大分類別では、製造業が最も多く、次いで小売業、卸売業が同順位となった。業種細分類別で見ると、老舗企業数で清酒製造業が最も多く、次いで医薬品製剤製造業、呉服・服地小売業の順となった。

帝国データバンクが保有する企業概要ファイル「COSMOS2」(2025年12月時点、約150万社収録)に加え、独自で収集し営業の実体が確認できた企業を基に、創業・設立から100年以上の企業を「老舗企業」と定義し、分析を行った。創業時が元号・時代のみ判明している場合には、各元号・時代の最終年を創業年として集計した。

奈良県の老舗企業は502社、「老舗出現率」は全国21位

2025年12月時点で業歴100年を超える老舗企業は、502社を数えた。現在のNHKがラジオ放送を開始し、普通選挙法が公布された1925年(大正14年)に創業した17社が老舗企業に加わった。全国における老舗企業の割合を指す「老舗出現率」は3.29%となった。なお、2024年12月時点の老舗企業は485社であった。

老舗企業数 推移

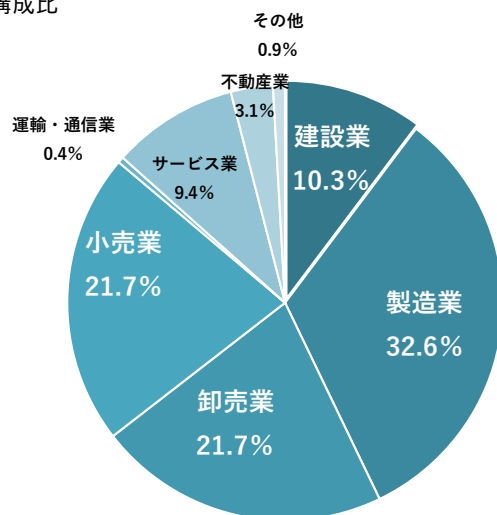


業種大分類別、社数では製造業、細分類別では清酒製造業がトップ

判明している現在の業種別にみると、最も多いのは製造業で奈良県内の老舗企業全体の32.6%を占めた。次いで、卸売業(21.7%)、小売業(21.7%)となり、7割以上を占めている。

老舗企業 業種大分類別

構成比



老舗出現率

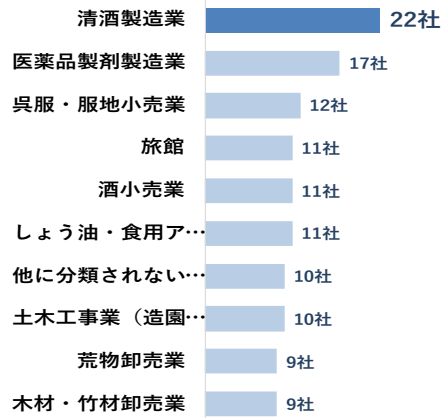
業種	老舗出現率 (%)
建設業	10.3%
製造業	32.6%
卸売業	21.7%
小売業	21.7%
運輸・通信業	0.4%
サービス業	9.4%
不動産業	3.1%
その他	0.9%

業種細分類別でみると、老舗企業数は清酒発祥の地と言われるように清酒製造業が22社でトップ、次いで医薬品製剤製造業が17社で2位だった。

以下、サービスや小売といった一般個人を主な対象とするBtoCの業種が上位を占める結果となり、呉服・服地小売業12社、旅館11社、酒小売業11社と続き、その後は製造業、卸売業、工事業が続いた。

老舗企業 業種細分類別上位10業種

老舗企業数

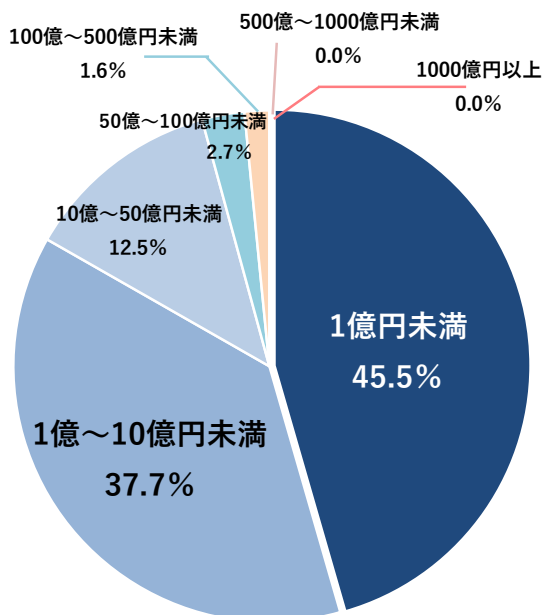


売上高別では「1億円未満」が45.5%、「500億円以上」はなかった

売上高が判明している老舗企業を売上規模別にみると、「1億円未満」が45.5%、「1億～10億円未満」が37.7%と、10億円未満が約8割を占める。規模は小さくとも着実に長く事業を続けているケースが大半を占めた。

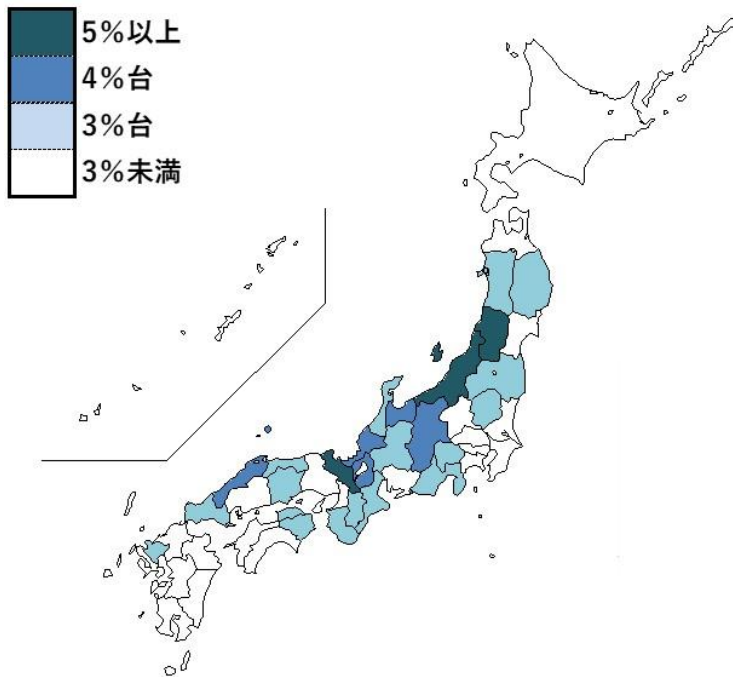
一方で、老舗企業のうち「500億円以上」はなく、「100億円～500億円未満」の割合が1.6%、「50億円～100億円未満」の割合が2.7%、「10億円～50億円未満」の割合が12.5%となった。

老舗企業 売上高構成比



1億円未満	45.5%
1億～10億円未満	37.7%
10億～50億円未満	12.5%
50億～100億円未満	2.7%
100億～500億円未満	1.6%
500億～1000億円未満	0.0%
1000億円以上	0.0%

〈参考〉 全国の出現率



順位	都道府県	老舗出現率
1	京都府	5.45%
2	山形県	5.44%
3	新潟県	5.07%
4	島根県	4.59%
5	福井県	4.56%
	⋮	
21	奈良県	3.29%